

リーダー交代が業績に与える影響に関する研究

—小規模店舗の事例を中心に—

1230478 武田優花

指導教員 金東勲

研究背景

これまで多くのリーダーシップ論において、リーダーの育成やリーダーとフォロワーの関係が議論されてきた。しかしながら、リーダーの交代時に関する研究は少なく、あるものはCEOなど組織のトップを対象にしているものがほとんどである。そのため、小規模な組織におけるリーダーの交代時の短期的なフォロワーへの影響を分析する研究はほとんど存在しない。

研究目的

本研究は、小規模な組織におけるリーダーの交代時の短期的なフォロワーへの影響を事例を用いて分析し、小規模組織における業績維持への貢献を目的とした。

研究方法

事例として丸源ラーメン南国バイパス店を取り上げ、その店舗のアルバイト従業員に対してインタビュー調査を行った。具体的には、2019年1月から2022年5月の期間で発生した3度の店長交代をすべて経験しているアルバイト従業員を対象に、重点項目を設置し、1対1での対面もしくは電話インタビュー調査を行った。

分析結果

全ての項目に対して共通していたことは、心理的な不安は大きかったものの、仕事にする姿勢にほとんど変化はなかったことである。また、店長の交代を経験するたびに、どう対応すればよいのか知識を得ることができたため、店長Aの時と比べ、店長Cの方が頼りにくかったにもかかわらず心理的不安は少なかった。

考察・結論

アルバイト従業員の心理的变化を探ることを目的としたインタビュー調査を行った結果、不安などのネガティブな心理に対して、責任感や自立性が勝ることで、ネガティブな交代が発生した場合でも業績を維持できると推察できた。これには、パス・ゴール理論における、前任者の支援型リーダーシップや参加型リーダーシップが影響していると考えられる。